

ヒロセ電機 2022年3月期 決算説明会

“2022”中長期成長戦略について

2022年5月9日

ヒロセ電機株式会社

代表取締役社長
石井 和徳

注意事項

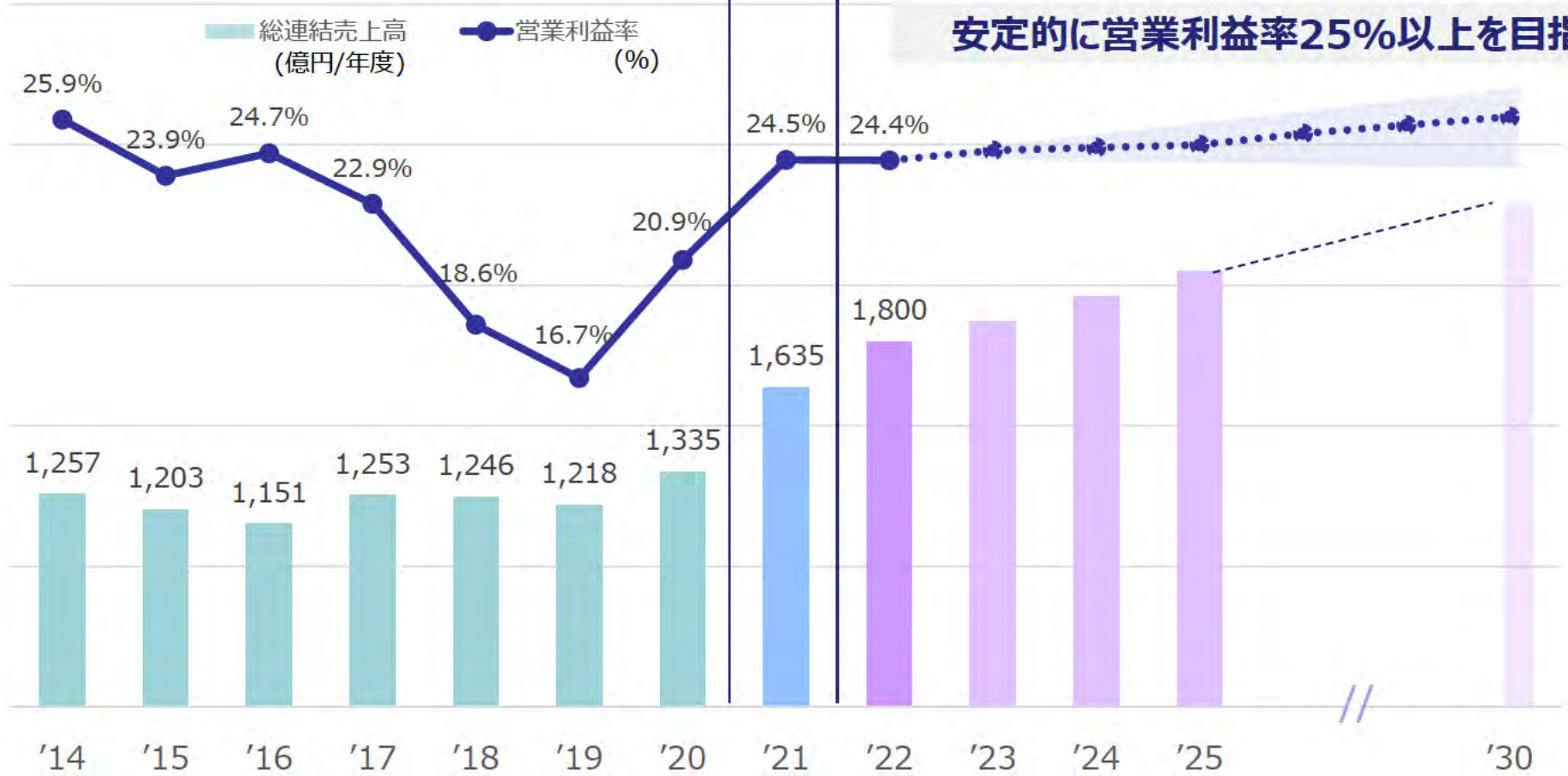
本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

HRS : 成長イメージ

高収益経営を維持し、中長期的に継続成長

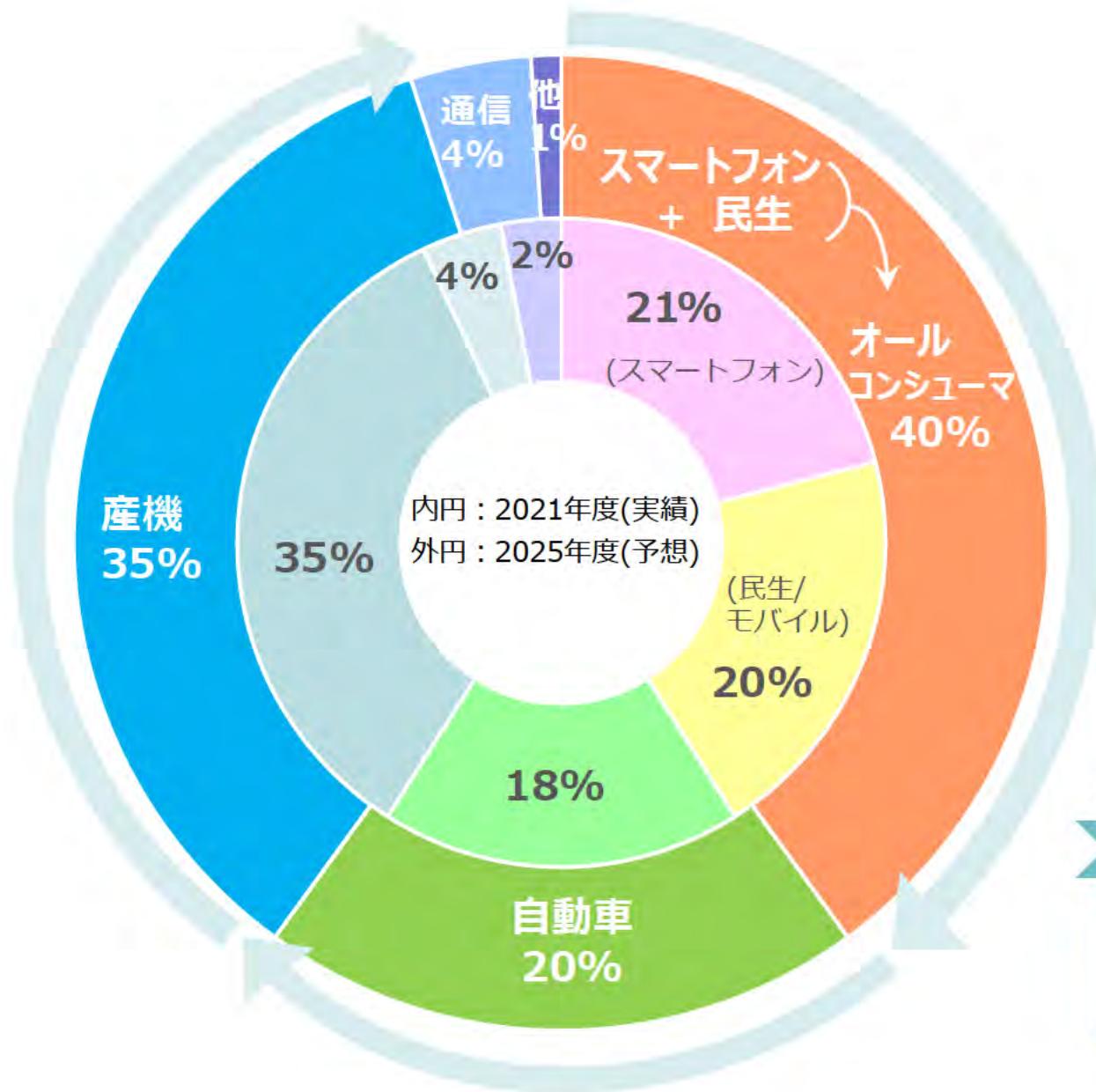
実績 結果 予想 方向性



➤➤
2020~2021年度 : [足場固め]
➤➤

2022~2025年度 : [本格成長]

中期 分野構成比イメージ



2021年度

- デジタル・IoTの本格化
→ コンシューマ市場の活況
- 次世代インフラ(5G)の加速
- 産機市場の高成長
→ 自動・ロボット化の加速

2025年度

- 「スマホ・コンシューマ」「車載」「産機・インフラ」の3本柱での成長
- 未来(継続成長)への仕掛けを強化

▶▶▶ バランスの良いビジネス構造で、
変化対応に強い企業体質の確立
を目指す

中期 分野戦略イメージ



本社 EMC試験室



一関試験センター



分業横断的な活動により、先行・先端・差異化の提案力を高める

市場環境の変化

■ 生活スタイルの変化

- ニューノーマル（新しい生活様式）
- デジタルトランスフォーメーションの加速
- あらゆるところでのIoTの普及
- リモートワークの定着による対応力

■ 価値観の変化

- 「質」に加えて「量」へのニーズ
- カーボンニュートラルなどの環境対応
- ESG、SDGsへの意識、活動の推進
- 自然災害等リスクへの迅速な対応
- 健康・安全志向へ

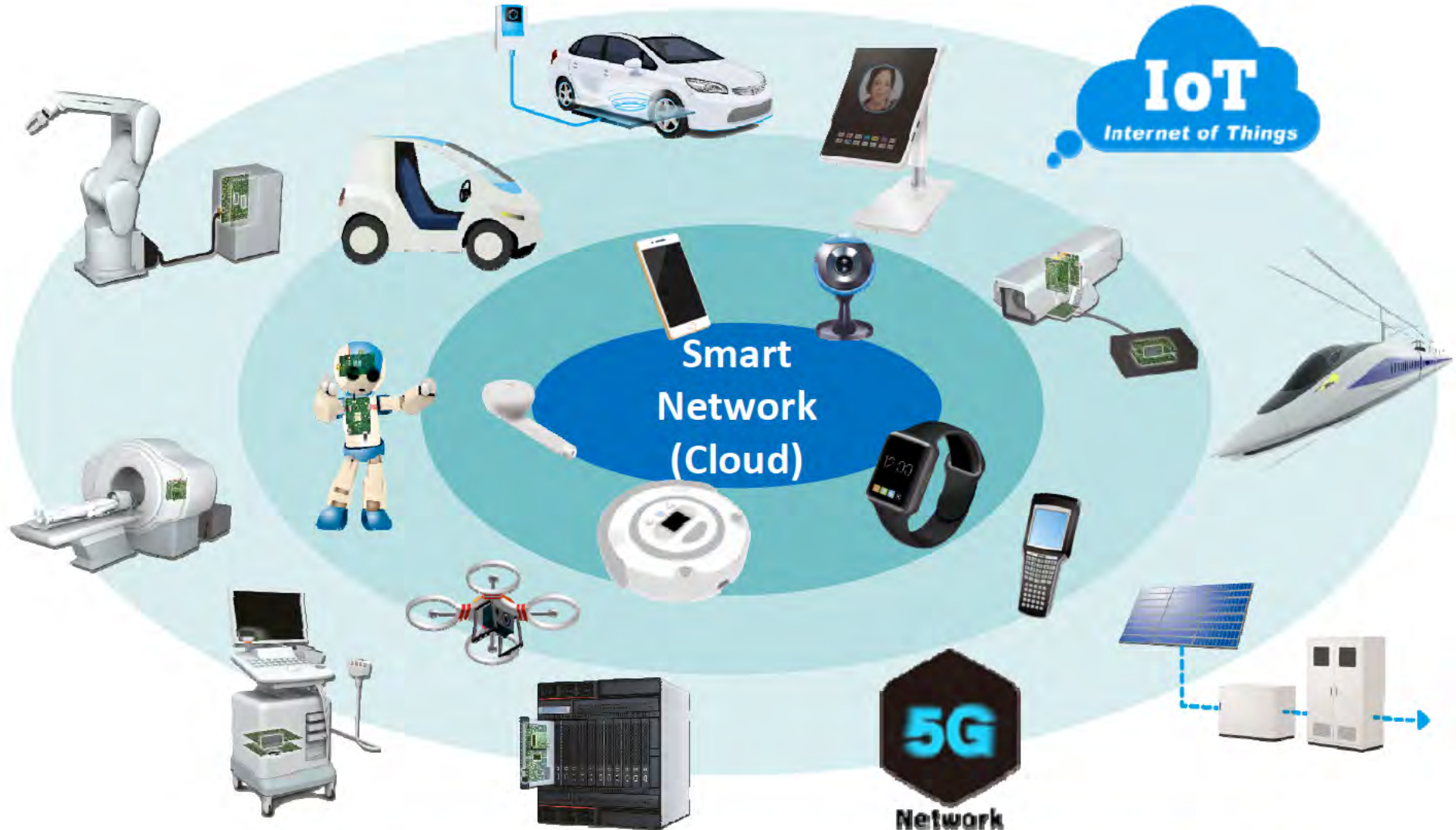
■ 想定されるリスク

- 原材料・部材不足・物流難・人不足などによる供給問題
- 世界的インフレーションによる経済問題
- 為替変動リスク
- 地政学的リスク

このからの高付加価値製品は
性能・品質に加え、**社会課題や変化に対して持続・安定的に対応すべき**
新しい事業機会の創出に、スピード感を持って対応する

さらに成長が期待される市場

身近な機器から社会インフラに至るまで、様々なニーズの変化・拡がりに対応



“つなぐビジネス”のポテンシャルが益々拡大している

モノづくり & 機能強化

郡山〔新〕工場



▶▶ [車載][産機]を中心とする先端
「モノづくり」工場

2023年度内 竣工予定
(現行の約2.7倍の延床面積)

ヒロセ コリア 精密コネクタセンター増築



▶▶ [マイクロコネクタ]の開発・生産を強化

2024年度 稼働予定
(現行の約1.3倍の延床面積)

▶▶ 主要分野において、中期的な供給力、モノづくり力の対応強化 ▶▶

基盤強化

2021年度の売上拡大を起点に、さらなる飛躍を目指すための基盤強化策 (2022年度～)

人財投資

育成の「深化元年」と位置づけ、制度改革とチャレンジを奨励する取り組み

- ① HRSらしさの追求(Hirose Philosophy再構築、従業員主体の“生き生きプロジェクト”)
- ② チャレンジを奨励する仕組み (評価制度刷新、360度評価 etc.)
- ③ 人財づくりをミッションとする専門部署の設立

ESG投資

社会課題対応に向けた投資

- ① カーボンニュートラルの推進
「2027年度Scope1,2排出量60%削減 (2021年度比) 」目標に向けた投資
- ② 健康経営を目指し各種プログラム実施

IT投資

HRSグループ全体で共通プラットフォーム構築(中期的に100億円～の投資)

- ① 次世代SCMの構築
- ② 設計情報のデジタル化/一元化
- ③ SFAを共通化しグローバルでの営業活動を可視化

ヒロセ技術展 CONNECTION2022

3年に1回の技術展

「つなぐ」から未来が創られる。

11月： 横浜会場 (パシフィコ横浜ノース)
12月： 大阪会場 (グランキューブ大阪)



ヒロセ技術展の特徴

- 未来志向の技術展

展示物の殆どが新製品や開発中、コンセプト品。

- 豊富な採用事例(実機)展示

民生、産機、自動車、各業界でのご採用装置を展示(一部は分解展示)。

- 説明員は全員技術者

- 2019年は約7000名のご来場者



市場・お客様へのソリューション提案と共に
お客様の声を未来の製品コンセプトにつなげる



2022年度方針

<<< 2022年度 >>>

➤ 「先見力と感知力・反応力」を強化し、前進する

<特なる強化ポイント>

〈1〉技術開発力・商品力（設計～量産）

〈2〉“モノづくり力”（製造強化）

〈3〉人財育成（深化元年）

本格回復

⇒ 継続成長・進化

➤ 「ヒロセ技術展」 >>> “つなぐ”から未来が創られる。 <<<



“商品力とモノづくり力”で勝負するHRSグループ



HRS HIROSE
ELECTRIC
CO.,LTD.